

わかる喜びとみんなで学ぶ楽しさを追求する授業をつくっていきましょう。



— 学び続ける教師のために —

明日に生きる 授業づくり学習会

6月15日(土)

埼玉教育会館

■参加費 一日1000円・半日500円
(学生無料)

●はじめの会 10:00~10:30

「学級で楽しめる遊びと歌の紹介」 音楽教育の会

●全体会(実践報告) 10:30~12:00

「子どもの声が聞こえますか？」

～ 日記がひらく子どもの心 ～

伊藤 和実 さん(小学校教諭)

●12:00~ お昼を食べながら交流会

(弁当販売あります。)

●授業づくり分科会

①13:00~14:10

②14:20~15:30

県内の民間教育研究団体による授業づくりのための分科会が行われます。

■共同主催: 埼玉県教職員組合青年部/ 埼玉サークル協/ 埼玉県高等学校教職員組合

■後援と連絡先: さいたま教育文化研究所

048-831-4266



分科会の日程と内容

	1校時（13:00～14:20）	2校時（14:30～15:50）
101	日記指導の可能性を探る（埼玉作文の会） 日記指導ばくの場合…初めての高学年を担当することになって「日記で笑顔を広げたい」と取り組んだ若手先生の1年間の歩みを発表します。また、子どもが豊かに育つ「日記！作文！詩！」、その実例をあげて提案します。	子ども理解（日本生活教育連盟） レポート「みんなで勝ちたい！～部活で子どもの生活に寄り添う時～」をもとに、話題になっている部活動の在り方について考えます。2018年3月、スポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を示し、部活動の在り方が問われています。子どもの人間らしい成長や発達の視点に立って、一緒に学び合しましょう。
102	小学校・中学校の学級集団づくり（生活指導研究協議会） 「黄金の3日間」でがんじがらめにされた子どもたち、そんな中で課題がはっきりしてきた子どもたち。どう受け止めて学級集団づくりを進めるか、真の成長をうながす見通しをもった実践の方向性を学び合しましょう。	体育（学校体育研究同志会） 春の体育はマット運動から始めると良いこといっぱいです。…その1「カラダを耕す動きが学べる」その2「技はポイントと順序を踏まえるとできる」その3「連続技は奥が深い」その4「みんなでいっしょに表現すると楽しい」…授業計画案をみんなで検討します。
302	理科（科学教育研究協議会） 「授業のねらいに近づく話し合いの深め方」 実際の授業映像を見ながら、子どもの発言をどう切り返したり拾ったりすれば、授業のねらいに近づく話し合いができるのか考えます。	
304	英語（新英語教育研究会） 英語教育は会話中心に変えた方がよいと考える人が多い。文科省は2020年から小学校に英語科を導入します。英語をきちんと教えられる教師のあてはありません。こんな中で実践をお聞きできるようになりました。県民、保護者、先生方みんなで授業をきいて話し合しましょう。子どもたちのために！	図工（新しい絵の会） 5年生 自画像 版画の実践から 上手く描くことよりも自分自身を見つめることを大切に取り組んだ作品から学ぼう。3年生から6年生までの実践例も紹介します。
305	道徳（楽しい道徳の授業をつくる会） 「どの教材をどう使うか」大人が用意した答えを当てるのが道徳の授業？ 初めから答えはわかっている？ そうならないために、教科書は「重点化」と「対話」をポイントに考えます。さらに絵本などの自主教材を取り入れた、どの子ども熱中する授業を報告します。	国語・算数の学力（学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会） どの子にも、確かな学力の基礎を教え育てる授業づくり。 資料をもとに新出漢字の指導法を具体的にお話しします。
403	社会科（歴史教育者協議会） 社会科の授業をつくる時、大切にしたいのはどんなことでしょうか。子どもたちは社会科の授業を通じてどんな力をつけていくのでしょうか。小学校5年生の実践を中心に、社会科の授業づくりについて考えます。	国語（児童言語研究会） 今年は川口の山口佳代子先生が光村4年下説明文「ウナギのなぞを追って」の授業づくり、教材分析、資料の準備等を報告します。一読総合法による国語の授業づくりは学級づくりと一体です。又、授業づくりは生活指導です。一読総合法こそ「真」のアクティブ・ラーニング（子ども主体）です。意見表明・話し合いもバッチリです。